

令和8年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和8年5月20日(水) 午前9時30分から11時30分まで

2 場所 静岡南部特別支援学校 1階 会議室

3 出席者

(1)学校運営協議会会員

地域コーディネーター、西豊田地区社会福祉協議会、NPO法人ひまわり 副理事長、
小鹿こども園 園長、静岡済生会療育センター令和 療育支援課主幹、
西豊田小学校 PTA 顧問、本校 PTA 副会長

(2)本校職員

校長、教頭、事務長、小学部主事(欠席)、中学部主事・訪問主任、教務主任

4 内容

- ・校長挨拶
- ・自己紹介
- ・令和8年度学校経営計画について
- ・令和8年度学部経営計画、学部紹介
- ・授業参観
- ・授業参観感想、学校運営に関する意見等

5 議事録

【校長より】

- ・今年度末で閉校となるが、閉校を「マイナス」ではなく、新しい世界へ踏み出す「準備の年」として前向きに捉えたい。そのために教職員全員で協力し、日々の教育活動と閉校準備を両立させていきたい。
- ・静岡県で個別の教育支援計画や個別の指導計画等の統一様式が導入される。来年度の転校先(中央特別支援学校等)でも学びの積み重ねが途切れないよう、実態把握と目標設定の精度を高めていきたい。

【授業参観の感想、学校運営に関する意見等】

- ・子供たちが生き生きと活動しており、「笑顔」で楽しく取り組んでいることが教育の成功の9割を占めるのと思うので、とても良かった。
- ・苦手な課題があっても、少しの変化を見逃さずに「頑張ったね」と認め、褒めることが子どもの力になっている。
- ・それぞれの子どもの学年や実態に合わせた授業準備がなされており、楽しさが意欲に繋がっている。

- ・児童生徒数が少なくても、一人一人に対して非常に力を入れて指導が行われていることに驚きと感謝の気持ちがある。
- ・普段とは違う参観の状況でも、子供たちが非常に楽しそうに学校に通っている様子が伝わってきた。
- ・シールを活用した学習など、個々の興味や個性に合わせた指導が行われていて良かった。
- ・子どもから「本の先生」と呼ばれていて嬉しい。今後も約束の「お化けの本」を持っていくなど交流を続けたい。
- ・以前の交流で、かるたの読み手になった友達のことを「頑張れ」と応援する姿に感銘を受けた。
- ・県統一の様式により、転校後も学びがステップアップできる点は子供にとって非常に有益である。
- ・各教室に、緊急時連絡体制マニュアルが完備されている点が評価できる。予告なしの避難訓練を時間帯や状況を変えて実施することは非常に実践的である。
- ・各教室に緊急時連絡体制マニュアルがあるのが良い。しかし、内容が膨大になるといざという時に使えないため、「70～80%の完成度」を目指した簡潔で分かりやすいものにしていくとよい。
- ・危機管理マニュアルは定期的な読み合わせを通じて、身に付くまで繰り返し確認する必要がある。
- ・中央特別支援学校との交流を増やすことで「見たことがある人」を増やし、不安なく転校できる体制を作ってもらえてありがたい。
- ・自身の経験（南部から中央への転校）を踏まえ、人数規模が変わっても一人一人に合わせた指導が大事である。
- ・働き方改革で残業を減らしつつも、子供のために教職員が話し合う時間を確保することの重要性和難しさを感じている。
- ・今回のような参加型の授業参観は非常に楽しかった。少人数ながら丁寧な指導がなされている。
- ・この学校の最大の強みは「多職種連携」であり、閉校後もこの良さを他の学校へ引き継いでほしい。

